

国際林業協力事業（拡充）

【令和2年度予算概算決定額 99,076（116,306）千円】

<対策のポイント>

我が国の民間企業等が持つ森林資源活用に関する知見や、森林再生技術、資金を活かしてREDD+活動を推進することにより、我が国の排出削減目標の達成及びパリ協定で掲げられた「2℃目標」の実現に貢献します。

<政策目標>

- パリ協定の実施ルール等最新状況と整合したJCM-REDD+のガイドライン等の合意（4カ国[令和3年度まで]）
- 我が国の民間事業者等の知見・技術を活用して途上国の森林保全・資源利活用の課題解決に貢献（累計10件[令和6年度まで]）
- 途上国の森林再生に貢献する技術を普及（累計15件 [令和3年度まで]）

REDD+とは、途上国の森林の減少や劣化を抑制し、また、森林の造成や再生を進めることで、温室効果ガスの排出削減や吸収の確保を図る取組。

<事業の全体像>

途上国森林保全プロジェクト 体制強化事業

JCM-REDD+の実施体制強化・環境整備

今年決定予定のパリ協定の実施ルールや緑の気候基金（G C F）、世界銀行カーボンファンドなど関連事業の最新の状況等を調査し、JCM-REDD+クレジットの活用ポテンシャル等を分析。同結果を踏まえ、JCM-REDD+パートナー国や国際機関と協議しつつ、既存のガイドライン等を整備・改善することでJCMの実施体制・環境を強化。



途上国森林ナレッジ活用促進事業

我が国の技術等を活用した持続可能な森林経営の推進

我が国の民間事業者等が持つ森林整備や森林製品の生産等のナレッジ（知見・技術）を、途上国の住民が抱える課題解決に活用し、民間セクターによる森林減少・劣化の抑制、持続可能な森林経営を促進。



途上国森林再生技術普及事業

劣化した森林や開発放棄地での大規模な森林再生の実現

途上国の劣化した森林や開発放棄地等において、森林再生に大きく貢献すると見込まれる技術を、現場適用性の観点から調査・分析し、有効な技術を途上国政府等へ普及。



民間企業等の資金、知見等を活用しつつREDD+活動を推進し、我が国の排出削減目標達成に貢献

パリ協定の「2℃目標」の実現